



みなみ

発行日 令和元年11月5日



No. 7

大切なことは 聞いたことを自分自身が どう生かしていくか これからどう生かしていこうとするか！

校長 宮 居 伝

10月16日(水)には、伊藤 公英 氏(スキーモーグル競技オリンピック選手・伊藤みきさんの父親で現高等学校教員)と江上 いずみ 氏(元日本航空客室乗務員・現筑波大学客員教授)をお招きし、PTA教育講演会ならびに夢授業・キャリア教育を、PTA研修部のみなさまのご協力を得て開催することができました。保護者のみなさまはもちろんのこと、子どもたちも大きな感動を受ける機会となりました。

そして、このような貴重な機会に出会った時には「聞いたことを自分自身がどう生かしていくか」「これからどう生かしていこうとするか」ということが大切になってきます。

わたし自身も考えさせられることが多く、また高学年対象の「夢授業・キャリア教育」であったため、全校の子どもたちにも知ってほしいとの思いから、11月の全校朝会で、その一端を伝えました。



…(前略)…10月16日(水)に、5年生の人は、冬のオリンピックにスキーの選手として出場した 伊藤 みき選手のお父さんで、現在、高校の先生をしておられる 伊藤 公英(きみひで)先生から、また、6年生のみなさんは、航空会社(日本航空)の客室乗務員をしておられ、現在、大学の先生をしておられる 江上 いずみ先生から、お話を聞き学習をしました。

伊藤先生は、5年生の人たちに、自分の三人のお子さんに、いつも言ってきた大切な教え、「好き嫌いをしないこと・一万回の繰り返し(努力)が大切なこと・勉強を頑張ること」を伝えてくださいました。

また、江上先生は、6年生の人たちに、これまでの自分の歩んできた道を紹介しながら、自分の思いだけでなく、お友達や出会った人の気持ちにも寄り添っていく「おもてなしの心」を伝えてくださいました。

そして、おもてなしの心とともに、「100-1=99ではなく100-1=0になってしまうこともある。

これは、たった一人、一人・1のしたこと、たった1回のことで、これまでの信用や信頼、良さが全てなくなり0になってしまうことがあります。人として してはいけないことはやってはいけません。」と強く教えてくださいました。

「能登川南小学校の児童として、みんなが築き上げてきた能登川南小学校の良さを壊すような『一人・1』にならないことの大切さ、能登川南小学校の卒業生がつくり上げてきてくれた良き伝統を壊してはいけません。そして、さらに輝く能登川南小学校になるために頑張ってもらいたいですね。」と、エール・励ましの言葉を送ってくださいました。…(後略)…



お二人の先生からの学びや感動を、十分にお伝えできないのが心苦しいところではありますが、子どもたちや保護者のみなさまからの声を掲載させていただきますので、お読みいただければ幸いです。

子どもたちの声

…努力ほど楽しいものはない。私は、努力を自分からするというのは好きではなかったけれど、この言葉を聞いて心を動かされました。…自分から何かしてみようかなと思いました。…この言葉を教えてくださいましたことに感謝し、努力が楽しいものになるよう頑張ります。

…努力をして成功、努力をして失敗、努力をせずに成功、努力をせずに失敗、どれが自分にとっていいのかを考えるのが心に残りました。私は、努力をして失敗がいいと考えました。なぜなら、努力をして失敗を積み重ねると、その努力はむだにならないし、失敗すると、次、失敗しないために、どうすればよいのかを考えられるからだと思いました。…

…苦しいことをすれば楽しいことが待っているなど、前向きになれる言葉がたくさんありました。…「一生懸命にすれば一生懸命な友達に出会える、適当にすれば適当な友達に出会う。」ということ聞き、自分はしっかりとしたい人に出会えたらいいなと思いました。…今日は、いっぱい教えてくださいました。これらを生かして生活したいと思います。

…ふだん自分は、あまり敬語を使わないし、礼儀はあまりよくなかったので勉強になりました。あいさつや笑顔、笑い声など、いろいろなことを教えていただいたので、実際に使えるようになりたいです。いちばん大事だと思ったことは、笑顔で相手の目を見て話すことだと思いました。

…江上さんからは「おもてなしの心」や「礼儀」など、たくさんのことを教えてくださいました。江上さん自身の失敗談や経験、そして、江上さんから教えていただいたながら、実際に自分たちであいさつをしたり、握手をしたりして、すごく勉強になりました。これから使えることを覚えておきたいです。



保護者のみなさまの声

子どもの年齢によって接し方を上手に変えていき、いつも見守っていくことの大切さ、日々の愛情が大事だということを、再度確認できました。毎日の忙しさなどで、大事なことを、つい忘れがちになりますが、一日一日を子どもとともに楽しく過ごしていると良いなと改めて思いました。

家族への無償の愛の原点の話が一番心に残りました。親の背中を見て育つ子どもの手本でありたい。相手のたちばに立って考えることの大切さなど、ふだんつい忘れがちなのが基本となることを改めて感じました。子どもと過ごす限られた時間を大切にしていきたいです。

叱るのは、とても難しいが重要で、叱り方にもコツがあり、叱る時にほめるを合わせることや叱ってその後、本人が改善した時には、また、しっかりと認め、ほめるということを話され、ああできていないなあ、大事だなあと、改めて気付かされました。